

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ア	全産業における労働生産性の向上	施 策	①リゾテックおきなわの推進による産業DXの加速化
			施策の小項目名	○全産業におけるDX促進
主な取組	スマート農林水産技術の開発・実証の推進		対応する成果指標	各種支援によりDXの取組が促進された企業数（累計）
施策の方向	・小売業や飲食店・宿泊業等サービス業における予約・注文のオンライン化やキャッシュレス決済の導入、建設産業におけるi-Construction及びBIM／CIM等の促進、医療・介護分野におけるロボット・ICT化、農林水産業におけるドローン活用及びデータ分析等による生産性向上など、全産業におけるDXを促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
持続可能な農林水産業の振興を図るため、関係機関と連携の下、デジタル技術等のスマート農林水産技術を活用した省力化に向けた実証に取り組む。	県,市町村,農協等	スマート農林水産業の確立に向けた技術開発・実証		
		技術開発・実証の取組数(内訳)		
		1件	1件(継続1件)	1件(継続1件)
担当部課【連絡先】	農林水産部農林水産総務課【 098-866-2254 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

—

—

令和7年度活動内容

国直轄事業であるスマート農業実証プロジェクト事業は、令和5年度で新規地区の採択を終了しており、令和7年度に本県で実証を行っている地区はない。

(単位：千円)

予算事業名

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和8年度活動計画

活動指標名

技術開発・実証の取組数（内訳）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

順調

園芸品目やさとうきび栽培における省力化等に向けた先端技術については、関係機関と連携した導入に向けた検討を進めている。

—

—

1件

1 件

100.0%

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
技術開発・実証の取組数について、目標1件のところ実績は1件であり、「順調」判断した。 さとうきびについては、各農機メーカーが既存で発売しているスマート機械の沖縄に適したアセットについて現場検証を実施しつつ、オペレーターの人材育成を進めている。 園芸品目については、対象となる品目及び協力するメーカーの選定を行っているところであり、令和8年度以降に技術開発を実施する予定となっている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○対応する成果指標の目標達成に向けて、「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画（中期）」において、「スマート農林水産技術の開発・実証の推進」等の新たな取組を行う。	○沖縄県に適したスマート農業技術を開発するため、必要となる環境技術制御項目の選定及び開発工程について調整を進めている。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	スマート農業技術の導入には、導入先となる地域や品目の特性に対する効果検証を行う必要があり、先進事例の実証地区を設けることで全体的な普及促進につながる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	農業研究センターにて閉鎖型環境におけるスマート農業技術の効果検証を実施するとともに、協力農家の圃場にて省力化に資する農機の実証試験を行い導入意欲の高い農家への情報発信を行っていく。